

平成31年度当初予算(案)の概要

(平成31年2月18日財政課)

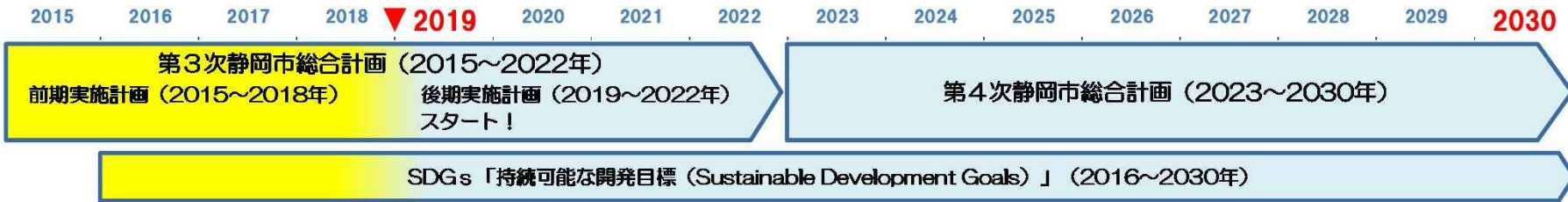
★予算規模

一般会計 3,180億円(対前年度 58億円増 +1.9%)
 全会計 6,225億円(対前年度 56億円減 Δ0.9%)

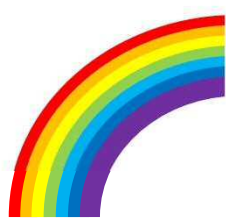
★予算編成のポイント

- ◇ 本市の最重要課題である「5大構想」を実現するための施策に予算を重点配分
- ◇ 人口活力を維持・拡大し、地域経済活性化につなげる取組を予算に反映
- ◇ 第3次行財政改革推進大綱やアセットマネジメント基本方針に基づく取組を予算に反映

～第3次総合計画後期実施計画の幕開け(2030年のゴールに向けて)～



ゴール!



「世界に輝く静岡」の実現

5大構想

SDGs 世界共通のものさし (2016~2030)
 SDGsという世界共通のものさしで設定された、2030年のゴールに向けた大きな目標を5大構想に組み込み、活用していきます。

世界に存在感を示す3つの都心づくり

海洋文化の拠点づくり

20.2億円

- ・海洋・地球の総合ミュージアムの建設用地取得
- ・新清水庁舎の整備・管理事業者公募
- ・新興津ビーチパーク海づり施設の整備推進
- ・清水港開港120周年記念事業の展開
- ・駿河湾フェリーの運航支援



教育文化の拠点づくり

1.1億円

- ・草薙・東静岡副都心のグランドデザイン策定
- ・「静岡シチズンカレッジ コ・コ・に」の拡充
- ・JR草薙駅北口国道1号横断施設の具体化
- ・2020オリパラを見据えた「アート&スポーツ/ヒロバ」活用
- ・外部有識者による高等教育のあり方検討

歴史文化の拠点づくり

19.3億円

- ・歴史文化施設の建設工事推進
- ・市民文化会館のリニューアルに向けた計画策定
- ・駿府城公園中堀における葵舟運行
- ・駿府城跡天守台遺構の野外展示方法検討
- ・今川義元公生誕五百年祭の開催

生活の質を高める2つの仕組づくり

「健康長寿のまち」の推進

11.0億円

- ・認知症予防に向けての体制整備
- ・歯と口腔の健康づくり推進
- ・高齢者就労促進のためのワンストップ窓口開設
- ・静岡のブランド食材を取り入れたわくわく給食プロジェクト
- ・フレイルチェック(健康度の見える化)による介護予防の促進

「まちは劇場」の推進

4.8億円

- ・「まちは劇場」のブランディングと国際化推進
- ・日本平、駿府城公園、巴川周辺の夜の賑わい創出
- ・春夏秋冬フェスティバルが楽しめるまちの実現
- ・北街道線の魅力空間創出推進
- ・市民参加型バリアフリー舞台公演に向けたプレ公演

3次総重点プロジェクト

「創造する力」による都市の発展 (産業・経済の振興)

歴史都市

23.9億円

文化都市

34.2億円

中枢都市

77.2億円

「つながる力」による暮らしの充実 (安心・安全の確保)

健康都市

295.5億円

防災都市

138.2億円

共生都市

28.8億円

平成31年度の主な新規・拡充事業

交流人口の拡大

- ・(仮称)三保松原保全研究機構の活動支援
- ・日本平動物園開園50周年記念事業
- ・ラグビーワールドカップ宿舎の受入れ

中小企業の振興や農業の活性化

- ・中小企業のIT導入に向けた相談体制整備
- ・清水港周辺の地域経済活性化施策検討
- ・畑地帯総合整備事業検討地区の事業性調査実施

子ども・子育て支援の充実

- ・妊娠を希望する女性への風しん予防接種
- ・高校生世代への子ども医療費助成拡大
- ・不登校児童・生徒の家庭への訪問相談員の配置

災害対応力の強化

- ・緊急情報防災ラジオの普及促進
- ・防災マップの避難場所情報の更新
- ・災害情報を収集・発信するシステム構築



・SDGsとは、2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のこと。国連が提唱した「誰ひとりとして取り残さない」の合言葉をもとに、全ての国や地域が持続的に発展していくために決めた世界共通の17の目標を指す。